



(株)ミリオントーナショナル
 といえば、遊技業界の社会貢献活
 動を常にリードしてきた会社です。
 代表は小島豊氏。94年(平成
 6年)からは、都遊協青
 年部会代表世話人と
 して、業界の社会
 貢献活動を率先
 垂範してきました。
 た。日遊協で
 も89年(平成
 元年)の日
 遊協創立に
 参加00年平
 成12年)か
 らは日遊
 協理事、副
 会長として、
 社会貢献活
 動で活躍さ
 れました。

ンバーとともに参加。また市民の
 自発的なボランティア活動が珍し
 かったころ、この活動は大きな反響

よく知ら
 れているのが、
 97年のナホト
 カ号重油流出事
 件の時、酷寒の福
 井県三国町の海岸を
 埋めた流出重油の除去
 作業に、都遊協青年部のメ
 ンバーとともに参加。また市民の
 自発的なボランティア活動が珍し
 かったころ、この活動は大きな反響

(株)ミリオントーナショナル

を呼び、遊技産業の活動を広く世間
 にアピールしたことで知られてい
 ます。都遊協青年部の一員として、
 その後も、98年(平成10年)のカンボ
 ジアでの地雷除去など、業界の粋を
 超えた活動で注目を集めました。む
 ろん、昨年の大震災に際しても、ミ
 リオンインターナショナルは都遊協
 青年部の仲間とともに、被災地支援
 のためのボランティア活動や募金運
 動などに大きく貢献しました。

そんなミリオントーナショナルの
 社員ボランティアが、この9月、
 東京多摩市にある重度心身障害児施
 設、島田療育センターの「島田わい
 わい祭り2012」に守る会の一員
 として参加しました。センターは、
 61年(昭和36年)、自身も障害児を抱
 えて苦勞されていた、業界人の島田
 伊三郎氏と日本の障害児治療の草分
 け、慶応大学の小林提樹教授の熱意
 によって、日本で初めての本格的な

心身障害児の治療、研究
 センターとして発足、多
 くの業績を残しながら、
 今日に至っています。当
 初、島田氏が私財をなげ
 うって完成に漕ぎ着けた
 ことから、いまでもその名
 前で呼ばれ、遺志を継ぐ
 業界人有志によって支え
 られています。

綿あめ作りやビンゴゲームなどに大
 汗をかいた社員ボランティアたちで
 したが、終わってみると「逆にこち
 らが笑顔と感動をいただいた」と大
 感激。今回は5人の社員有志の参加
 でしたが、「また参加したい」とい
 う希望者が増えているとのことだ。

地域の清掃から盆踊りまで

身近な地域貢献活動にも熱心です。
 東京高円寺で毎年開かれる「高円寺
 阿波踊り大会」。昨
 年は電力不足の懸念
 から今ひとつの盛り
 上がりだったが、今
 年はそれも解消。約
 1万人が阿波踊りに
 興じ、来場者は2日
 間で100万人に達
 しました。
 ミリオントーナ

ナショナルでは、駅前大看板や運営ス
 タッフ1000人分のTシャツなどを
 読売新聞と共同で協賛。「ミリオ
 ン高円寺22号店」から、15人の若手社員
 もボランティアとして参加しました。
 地域清掃を行う「グリーンパト
 ール隊」の活動も、知られています。
 09年、ミリオントーナショナル創業60周年を記念し
 て始まったこの活動は、各地のミ
 リオン店の社員が、おそろいの緑のゼツ
 ケンをつけて、近隣の清掃を行いま
 す。道行く人から「がんばれよ！」
 と励まされ、日頃照れくさがりやの
 若手社員も、地域社会と心を通わせ
 ることの意味を理解していくよう
 です。「パチンコファンのみに支持さ
 れるホールではなく、地域社会のす
 べての人が共感、楽しめるエンター
 テインメント企業を目指す」という
 同社の経営理念が、同社の社会貢献
 活動に生きています。

(上)被災地・石巻で復興ボランティアに参加 (下)島田療育センターわいわい祭りでビンゴゲームに汗を流すミリオントーナショナル社員



(上)「東京高円寺阿波踊り大会」を全面サポートするミリオントーナショナルスタッフ (下)地元市民の励ましを受けるグリーンパトロール隊